

地域独自の資源(食・歴史・文化・モノ・人…)の発見・活用手法と課題解決への挑戦

# 「観光まちづくり」と「地域イノベーション」

- [交流・連携] を活性化し、ビジネスモデル開発を図るブランド構築戦略
- 地域資源活用戦略と観光・産業振興— [クリエイティブ産業] の育成・発展方策

榎並 利博 氏／(株)富士通総研経済研究所主席研究員

渡辺 英彦 氏／(社)ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会 代表理事

富士宮やきそば学会 会長

藤田 礼子 氏／千葉・成田市副市長(前・国土交通省観光庁総務課企画室長)

後藤 和子 氏／埼玉大学経済学部教授

あすの街と村を考える

2013年 5月28日(火) 9:50～16:55 剛堂会館 会議室(東京・千代田区)



地域科学研究会

時	講義内容
9:50	<p>■ 「食」文化を核とした観光まちづくり戦略と地域の活性化</p> <p>1. 消費者が求める観光と食とは 2. 地域の文化を感じさせる「食」 3. 地域活性化の鍵となるエクイティ文化 4. 地方活性化レストランを作ろう！ 5. 食文化を核とした観光まちづくり戦略とは</p> <p>[質疑応答]</p>
11:20	<p>■ [静岡・富士宮市] ご当地グルメのブランド化戦略と地域活性化ビジネスモデルの開発 ～フードバレー構想と産官学連携の仕組み、活用、成果～</p> <p>【エクイティ文化】 「郷土への愛着を持ち、自主自立の精神で過去と袂を分かち、自らリスクをとってイノベーションに関与していく人々の行動原理」</p>
11:30	<p>1. ご当地グルメの地域ブランド化 2. 富士宮におけるマーケティング・プロモーション戦略 3. ご当地グルメと知的財産権 4. 持続可能な地域活性化ビジネスモデル</p> <p>[質疑応答]</p>
13:00	<p>【富士宮市の食からの地域活性化】富士山を背景とした貴重な自然環境と、湧水に育まれた豊富な食材を活かして、「食の豊富な資源を生かした産業振興」、「食のネットワーク化による経済の活性化」、「食の情報発信による富士宮ブランドの確立」などをめざす「フードバレー構想」を掲げている。 ご当地グルメとして一躍有名になった「富士宮やきそば」をきっかけとして、様々な地域活性化プログラムが展開されている。</p>
13:45	<p>■ [千葉・成田市] 「国際空港」と地域資源の活用戦略 ～「運気上昇のまち 成田」の取り組み～</p> <p>1. 成田市のプロフィール：「空の町」・「門前町」 2. 羽田の再国際化ショック：「成田ブランドの構築」 3. 成田国際空港の発展を原動力に：「運気上昇のまち 成田」</p> <p>[質疑応答]</p>
15:15	<p>【運気上昇のまち】成田空港成長戦略会議から発案されたPRコンセプト。成田山新勝寺のご利益や、空港から飛行機が勢いよく飛び立つイメージから。同会議は、これまでに成田産サツマイモを使った「成田ソラあんぱん」なども開発。</p>
15:25	<p>■ これからの地域・観光・産業振興 ～クリエイティブ産業の経済学 ～</p> <p>1. クリエイティブ産業をめぐる課題とは何か 2. 文化政策と産業政策の融合の重要性 3. 地域・観光・産業振興における 契約・著作権・税制のインセンティブ設計について</p> <p>[質疑応答]</p>
16:55	<p>【クリエイティブ産業】一般的には、個人の創造性や技術、才能に起源を持ち、知的財産の創造と開発を通して、財と雇用を生み出す可能性をもつ。アニメ、ゲーム、映画等のコンテンツや、ファッション、デザインといった日本特有のブランド価値創造に関する産業のことをさす。食文化や観光もこれに含まれると言われている。</p>

【参加要領】会場：剛堂会館ビル・会議室

(申込用紙は裏面) 東京都千代田区紀尾井町3-27  
TEL 03-3234-7362 (案内図は申込後送付)

お問合せ：地域科学研究会 03-3234-1231

参加費(1名)	当日参加	メディア参加
行政・議員	24,000円	27,000円
一般	34,000円	37,000円

※メディア参加申込の方へは開催後にCD(講演収録)と資料及び請求書をお送りします。  
当日参加で申込後に欠席される場合には代理の方の出席もしくはメディア参加とさせていただきます。